

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|----------------|
| ○事業所名 | Liebeおおがま | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 2月 1日 | | ～ 2025年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 12 | (回答者数) 9 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 3月 1日 | | ～ 2025年 3月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 児童の安全確保や支援の質向上に対する職員の意識が高く、全体的に積極的な姿勢が見られる。 | 活動の中で子どもたちの自主性を育む工夫をしており、自己選択・自己決定の機会を設けている。 | 児童のニーズに応じた支援方法を増やし、個々の特性にさらに合った対応を目指す。 |
| 2 | 保護者からの相対対応が丁寧で、信頼関係を築けていることが評価されている。 | 連絡ノートや日報の活用を通じて、支援方針のズレが生じないように工夫している。 | 外部研修の受講機会を増やし、より専門的な知識・技術を職員が学べるようにする。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | 一部の職員に業務が集中し、負担が偏っている可能性がある。 | 業務の分担が難しく、一部の職員に過度な負担がかかっている。 | 業務の標準化やタスク管理の工夫を通じて、負担を均等化する取り組みが必要。 |
| 2 | 活動スペースや備品の充実度に課題があり、児童にとって最適な環境整備が求められる。 | 限られたスペースの中で、活動のバリエーションを増やすことが難しい。 | 可能な範囲で設備の充実を図り、児童にとってより快適な支援環境を整える。 |
| 3 | | | |